

第3回 ジブリパーク構想地域連携協議会 議事概要

日 時：2022年3月30日（水）午後2:00～2:50

場 所：本庁舎6階 正庁

<開会>

【司会（愛知県政策企画局長）】

それでは、「第3回ジブリパーク構想地域連携協議会」を開催いたします。

本日は、皆様、年度末のお忙しい中、御出席賜り、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、愛知県政策企画局長の沼澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は新型コロナウイルスの感染防止のため、発言時も含めマスク着用をお願いしたいと存じますので、御承知おき願います。

それでは、開会に当たりまして、本協議会の会長であります大村知事より御挨拶を申し上げます。

<挨拶>

【愛知県知事】

皆様こんにちは、愛知県知事の大村です。

第3回ジブリパーク構想地域連携協議会の開会にあたりまして、御挨拶を申し上げます。

本日は、年度末のお忙しい中、御参加いただきありがとうございます。また、日頃からジブリパークの整備推進に御協力をいただきまして、重ねてお礼申し上げます。

ジブリパーク全5エリアのうち、3エリアが11月1日にオープンということで、今、準備を進めております。

先週水曜日には、先んじてエレベーターを開通しました。内装、外装、園路等はまだ工事中であります。昨年5月頃から使用できなかったのも、バリアフリー動線になっており供用しないといけないということで供用させていただきました。内装は段ボール等を貼って養生して隠してありますけども、一足先にジブリパークの雰囲気味わっていただけるのではないかと思います。

他にも着々と整備工事を進めておりまして、「地球屋」も外観を見ることができるようになっています。

そうした中で、運営方法につきましても現在、詰めておりまして、入場料、入場方法などは検討中ですが、チケットは夏くらいには販売できるよう進めていければと思っております。

いずれにしても、これから秋に向けて、ジブリパークの開園準備とPRを進めていきたいと思っておりますので、関連する地域の皆様には、引き続き御支援をお願い申し上げたいと思っております。

また、ジブリパークの効果を最大化するために、来園した方を県内の周遊観光に誘導していくような仕組み作りもしっかりと準備を進めていかなければならないと思っております。

また、開園した11月、12月の週末、金土日は、愛・地球博記念公園で大PR作戦をやろうと思っておりますので、既に皆さんに御相談させていただいておりますが、良い機会だと思っておりますので、ぜひPRしていければと思っております。

いずれにしても、ジブリパークの開園効果を地域の活性化に結びつけていくために、周辺の自治体の皆様、鉄道事業者の皆様には、引き続き御支援・御指導をお願い申し上げます。

本日の会議では、これまでの取組の成果と、開園を見据えた今後の取組について意見交換をさせていただければと思っております。

皆様から忌憚のない御意見をいただきますようお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

【司会（愛知県政策企画局長）】

本日の出席者の御紹介につきましては、本来であれば、皆さんお一人ずつ御紹介すべきところがございますが、時間の都合上、お手元の出席者名簿に代えさせていただきますと存じます。

それでは、ここからの議事進行につきましては、会長であります、大村知事をお願いいたします。

<議題>

【愛知県知事】

それでは議事を進めます。

まず、議題（1）の「ジブリパーク構想地域連携協議会の取組についての検討状況と取組実績について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局（愛知県政策企画局ジブリパーク推進課）】

はい、それでは事務局の方からご説明申し上げます。

愛知県ジブリパーク推進課の河合でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の資料1、「ジブリパーク構想地域連携協議会の取組についての検討状況と取組実績について」を御覧いただければと思います。

昨年度に引き続き、今年度におきましても、この協議会下の調整機関として運営会議を複数回開催させていただき、当協議会で取り組むこととしております、「周辺地域の魅力向上・活性化、集客に向けた魅力の発信」、「ジブリパークへの玄関口となる藤が丘駅等のまちづくりや賑わいの創出」、「交通アクセスに係る総合的な調整」、「その他協議会の目的達成に必要な事項に関すること」、この4つの事項の取組状況等を協議してまいりました。

これを受けまして、こちらの資料は、これまで構成員の皆様に取り組んでいただいた成果と、今後、実施する具体的な取り組み計画について、まとめたものでございます。

この資料に基づいてご説明をさせていただきますが、資料中にごございます構成員各市の取組につきましては、後ほど、資料3にて、市長様から直接ご説明をいただく内容と重複することとしますので、県や鉄道事業者様の取組を中心に説明をさせていただきますようお願いしております。

それでは初めに、「(1) 周辺地域の魅力向上・活性化、集客に向けた魅力の発信」でございます。

「ア 愛・地球博記念公園周辺の観光施設への周遊促進」の取組として、まず「a 観光情報の発信」であります。ジブリパークのチケット購入者の属性データ等を用いて本県の観光情報等を提供する仕組みにつきまして、今年度から来年度にかけて構築する予定でございます。

その下の「b ジブリパークを活かした周遊観光の調査・検討」につきましては、今年度、観光・運輸交通・旅行業者51社へのヒアリングを行いまして、その結果を踏まえ、来年度は周遊観光ルートや旅行商品を検討してまいります。

また、東部丘陵線連絡協議会におきましては、ジブリパークから県内の観光名所をめぐる「リニモ沿線おでかけモデルルート」を10ルート作成いたしました。皆様のお手元に、昨日発表しましたA4サイズのリーフレットをお配りしておりますが、リニモ駅や沿線市の観光案内所、空港等で配布することとしており、来年度は他県の観光イベントなどでも配布していく予定でございます。

このほか、ジブリパーク来園者をリニモ沿線施設等に誘導する周遊イベントを今年度に引き続き実施してまいります。

ページをおめくりいただきまして、資料の2ページでございます。

「c 周辺の観光施設にアクセスするバスの利便性向上」につきましては、県におきまして、公園北口にバスの乗降場5バースを設置するロータリーを整備しているところでございます。

続きまして、その下の「イ 愛・地球博記念公園内での周遊観光施設の情報提供、地場製品のPR」でございます。

まず、「a ジブリパーク及び関連公園整備における県産材・地場製品の活用」につきましては、ジブリパーク及び愛・地球博記念公園の整備において、写真のとおり県産材・地場製品の活用を進めているところであり、木造建築物においては木材、建物の内外装等においては県産のレンガ、タイル、瓦などに県産材を積極的に活用し、良質な愛知の資材・製品等を広くPRしてまいります。

ページをおめくりいただきまして、3ページになります。

「b 地場製品の展示・販売スペースの設置」でございます。既に市町村の皆様にお知らせしておりますが、「あいち市町村フェア」(仮称)といたしまして、ジブリパークが開園する11月から12月の6週末にかけて、愛知県と県内市町村が連携し、公園の北口エリア及び大芝生広場において、観光PRや地元ならではの飲食・特産品を

展示・販売するなど、来園者の方へ愛知の魅力を知っていただくイベントを行ってまいります。

また、その下の「県産品のPRと販売の検討」につきましては、年間を通じて公園北口や西口の案内所・休憩所などにおいて実施していきたいと思っており、現在、具体的な方法などについて、商工会等との勉強会を開催しており、今後、具体的に詰めてまいります。

次に、4ページをご覧ください。

「c 案内所等におけるパンフレット等の設置」につきましては、公園の北口及び西口の案内所などに、パンフレットラックを設置するほか、デジタルサイネージを設置しまして、園内情報を提供しながら、県内各地の地域情報や観光情報の提供を行う予定です。

続きまして、その下の「ウ 周辺市等の魅力度アップ」でございます。

「a PR動画の作成」につきましては、1月27日に愛・地球博記念公園で実施した「メディア向け発表会」におきまして、スタジオジブリ作品の世界観をもとに県が制作した「ジブリパークのある愛知」をイメージした動画・キービジュアル「風になって、遊ぼう。」を発表いたしまして、愛知県内各地の魅力を紹介していくこととしております。

ジブリパークに来園する方々が、この動画をご覧になり、県内の観光地を周遊していただけるよう、動画配信サイトで公開しているほか、市町村や地域の観光協会、観光関連事業者の皆様にもご活用いただくこととしております。

おめくりいただきまして、5ページをご覧ください。

「b 宿泊施設の整備」につきましては、後ほどご紹介もあると思いますが、瀬戸市のホテル誘致、また、豊田市のジブリパークオープンに合わせた宿泊割引事業の取組がございます。

また、「c 植樹等による緑化の推進、散歩道の整備」につきましては、公園に整備する北側駐車場におきまして、今後、樹林地の保全や草地の創出、高木の植樹をしていく予定にしております。

また、長久手市におきましても、市内で植樹の取組を行っていただいております。

さらに、「d その他」としまして、日進市におきまして、道の駅「(仮称) にっしん」の整備事業を進めていただいているところであり、ジブリパークとの連携による道の駅の賑わいの創出などを行ってまいります。

続きまして、6ページをご覧ください。

「(2) ジブリパークへの玄関口となる藤が丘駅等のまちづくりや賑わいの創出」でございます。

まず、「ア 藤が丘駅周辺の賑わいの創出」でございます。

「a 藤が丘まちづくり協議会等との連携」につきましては、これまで同協議会や組合と連携した機運醸成のための催しを支援しております。

また、「b 藤が丘駅及び周辺施設の改修」につきましては、名古屋市の地下鉄藤が丘駅及び駅周辺施設の改修を行っていただいております。

次に、7ページをご覧ください。

「イ 鉄道各駅とジブリパークとの一体感の創出」でございます。

まず「a 駅構内等におけるジブリパークのバナー、ポスター等の掲示」につきましては、県と鉄道事業者で連携し、藤が丘駅、愛・地球博記念公園駅、八草駅などにおいて、駅構内や車内にジブリパークをPRするポスター・チラシを掲出してまいります。

また、その下の「b 駅構内や駅前広場における歓迎装飾の実施」につきましても、鉄道事業者、豊田市と連携し、各駅の構内において歓迎装飾を実施するほか、のぼりやポスター等を用いたジブリパークや市の観光PR等をしてまいります。

これらのコンテンツにつきましては、スタジオジブリや株式会社ジブリパークから提供していただくよう調整しております。

次に、8ページをご覧ください。

「(3) 交通アクセスに係る総合的な調整」でございます。

まず、「ア 公共交通機関の利用促進」としまして、「a WEB・パンフレット等によるPR、利用促進イベントの開催など」としまして、ジブリパークやモリコロパークのPRパンフレット等において、公共交通機関の利用を積極的に呼びかけていくほか、ジブリパークを絡めたリニモ沿線でのウォーキングイベントなどを開催し、公共交通機関の利用促進を図ってまいります。

ページをおめくりいただきまして、9ページをご覧ください。

「b M a a S (マース) の導入による利便性の高い移動サービスの提供に向けた実証実験の実施」につきましては、今年度に名古屋東部丘陵地域を含めた地域公共交通などの移動手段と多様なサービスを組み合わせたM a a Sの社会実装に向けた実証実験を、12月1日から1月31日までの2か月間実施しましたが、この実証実験の結果を踏まえ、引き続き来年度は、ジブリパーク開園を挟んだ5か月間程度、さらに内容を拡充して実証実験を行ってまいります。

次に「(4) その他協議会の目的達成に必要な事項に関すること」につきましては、「ア おもてなしボランティアの活用」としまして、園内で活動するおもてなしや通訳ボランティアについて、今後、募集を行っていくこととしております。

最後に、「イ ジブリパークのPRとパークを核にした地域の一体感の醸成」であります。今年度から各構成員において、名刺や周知グッズの作成を始めていただいております。

右側の写真にある手提げカバンにつきましては、本日皆様のお手元にお配りさせていただいておりますが、スタジオジブリ作成の「ジブリパークのある愛知」のロゴマークを活用したものでありまして、主に県外の観光PRなどで利用していく予定であります。

以上が資料1の内容でございますが、続きまして、資料2もこれと関連する内容でありますので、引き続き説明をさせていただきます。

資料2をご覧ください。

先ほど説明いたしました「ジブリパークのある愛知」ロゴマークの、民間での活用

事例を御紹介させていただきます。

順に申し上げますと、左上は、ホテルのロビーにおいて、観光案内のチラシ等を配架するパンフレットラックにロゴマークの看板を設置したもの、その右隣は、テイクアウトの菓子箱にロゴマークのシールを貼付けたもの、その右隣は、宿泊施設内のデジタルサイネージ、宿泊施設HP内の観光案内にご利用いただいている事例でございます。

また、左下でございますが、書店においてスタジオジブリに関する書籍等を集めたコーナーを設置し、そこにロゴマークのパネルを設置していただいたもの、その右隣は、県産品のPRイベントにおいて、ロゴマークを利用した“のぼり”を設置したもの、その右隣の上の方は、県産品すべてに貼付けるよう用意したシール、その下は、ワークショップにおいて作成する缶バッジにロゴマークをご利用いただいたものになります。

このロゴマークの使用実績につきましては、12月7日に利用申請を開始してから、これまでに約70件の利用を許諾しているところです。

引き続きロゴマークを活用し、ジブリパークと地域のPRを推進していただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

事務局からの説明は以上です。

どうぞよろしくお願いいたします。

【愛知県知事】

事務局から説明いただきますが、この今の説明、議題に関して何か御意見、御質問がありましたら、よろしくお願いいたします。

【瀬戸市長】

資料1の7ページに「鉄道各駅とジブリパークの一体感の創出」のところですが、瀬戸市は瀬戸の中心地である尾張瀬戸から愛・地球博記念公園の方に、現在も基幹バスが休日だけですが走行しています。

多くの瀬戸市民がジブリパークに出かける、あるいは、ジブリから瀬戸市へ来ていただくことができますのでぜひ尾張瀬戸駅に、ジブリのバナーやポスター等のデコレーションの御支援をいただきたいと思いますので、御要望を申し上げておきたいと思っております。以上です。

【愛知県知事】

はい、ありがとうございました。他はよろしいですか。

それではですね、続きまして、議題(2)の「ジブリパークに関する各市の取組状況」に移りたいと思っております。

各市の皆様から順番に御説明をいただければと思っておりますので、まず名古屋市中田副市長からお願いをしたいと思います。長久手市の後は鉄道事業者にもお願いいたします。

それでは中田さん、よろしくお願いいたします。

【名古屋市副市長】

名古屋市中田でございます。よろしくお願いいたします。

名古屋市のジブリパークの取組状況について、資料 3-1 で御説明をさせていただきます。

まず、ジブリパーク開園に向けた取組といたしまして、やはり広報、PRが大事だと思いますので、まず市の公式観光サイト「名古屋コンシェルジュ」でジブリパークの紹介ページを開設させていただいております。

それからフェイスブック等、SNSを使った情報発信も行っているところでございます。

今後も、市の主要施設における広報等もやっていこうと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

それから、開園を契機とした取組ということで、やはり藤が丘駅が名古屋駅の方から行くところとちょうど玄関になるわけですので、藤が丘駅周辺のまちづくりの推進ということで、地元のまちづくり協議会において、まちづくり構想をつくろうと盛り上がっておりますので、その策定の支援をやってまいります。

構想が策定できた暁には、駅周辺のまちづくりをどのようにしていくかということを考えてまいりたいと思っております。

それから資料の右側にいきまして、地域による開園に向けた気運醸成の取組の支援ということで、先ほどまちづくり協議会が盛り上がっていると申し上げましたけれども、協議会の他に藤が丘中央商店街振興組合がございますので、これらの団体が様々な活動をしておりますのを支援している状況でございます。

一つには、藤が丘大文化祭というのを毎年秋にやるわけでございますけれども、そこでジブリパークのイラストパネル展を開催したり、チラシの中にジブリパークを応援しようということを書いているということでございます。

それから、モリコロパーク関連の企画商品ということで、こちらも商店街でやっておりますけれども、愛知学院大学と共同で「モリコロ山の四季」というケーキのようなものを作っており、それを「商店街逸品名品テストマーケット」、これも金山で1年に1回行っているわけでございますけれども、そこで販売をしました。

今日、買って持ってこようと思ったのですが、どうも期間限定で、また春祭りとかでもうすぐ作り始めるそうで、買って持ってきて皆さんに食べていただこうと思ったのですが、知事さんにも逸品名品テストマーケットのときに食べていただいたということでございますので、そのような関連のこともやっていきたいと考えております。

それから最後ですけれども、右下の地下鉄藤が丘駅及び周辺施設の改修ということで、まずは駅のトイレですけれども、現在は工事をやっている最中でトイレが使えずに不便な思いを市民の方にしていただいておりますが、8月になりますと綺麗なトイレになるということでございます。やはりトイレが綺麗というのは基本の基でございますので、今整備しているところでございます。

その他にも花壇の改善でありますとか、駅に隣接するリニモス広場というちょっと

した広場があることから、そこをどうしていくのかなど、すぐにとということではないですけれども、並行してまちづくりをやっていきたくと考えている次第でございます。以上でございます。

【愛知県知事】

はい、ありがとうございました。次に瀬戸市の伊藤市長、お願いします。

【瀬戸市長】

はい。今日は貴重な会議をありがとうございました。資料の3-2を御覧いただきたいと思えます。

ここに、応援に関する瀬戸市の取組状況ということで、今、市を上げて、全面的にジブリパーク事業の成功の応援を展開をしている最中でございます。

本市としてのジブリパークへの思いとしましては、ジブリのファンを増やすということで、まずは1人でも多くの瀬戸市民が、まずはジブリパークに出かけて、ファンになる。その魅力を市内外の方々に発信してもらって、そこを通して、或いはジブリを通して瀬戸、こういうことを相互に考えながら、ファンを増やしていきたい、こう思っております。

先ほどの県の状況の中で触れていただきましたように、今までの事業として、右肩のところがございます、宿泊施設を、苦労しましたけれども、来ていただくことになりました。

先ほどお話ししました、バスの発着点から、目と鼻の先のところに、来年秋口オープンを予定で、ホテルを誘致いたしました。

他に瀬戸市のホームページ内にジブリ特設ホームページを開設をしたり、広報瀬戸に応援ページを作ったり、或いはジブリ映画作品の音楽での演奏会の開催、市役所文化センターに「ジブリパークのある愛知」の看板を設置、それからPR動画である「風になって遊ぼう。」を市役所ロビー、道の駅瀬戸しなので放映をしたり、図書館でもご覧のように関連図書のコーナーを作っているところでございます。

今後の活動としては、県の施設でございます海上の森センター、或いは陶磁美術館など、連携をいたしまして一体となってジブリパークを盛り上げていきたい、こういう考えでおります。

市民や大学等とも連携して、ジブリパークを全力で応援して参ります。まずは、市内の小中学生がジブリパークに足を運ぶ仕組み、ジブリ作品に触れられる仕組みを多く作っていきたく、その一つが先ほどご要望申し上げました、瀬戸からのバスですが、現在は基幹バスなので、尾張瀬戸駅から菱野団地を經由し、県の陶磁美術館を經由して所要時間30分、片道370円です。こうした現状を踏まえ検討して参りたいと考えております。

様々な団体とタイアップしながら、成功を願って頑張って参りますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。以上です。

【愛知県知事】

はい、ありがとうございます。またよく御相談したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

続きまして、豊田市の安田副市長、よろしくお願い申し上げます。

【豊田市副市長】

はい、豊田市の安田でございます。よろしくお願い申し上げます。

ジブリパークの開園に合わせて実施する取組として、まず「とよた宿割」を実施してまいります。新型コロナの経済対策として今年度も実施してまいりましたが、引き続き来年度も実施したいと考えております。

来年度は10月から宿割を実施したいと思っており、市内の55の宿泊施設の利用が対象となります。国県の制度との調整を図りながら進めていきたいと思っておりますが、利用代金の30%を補助し、20%は地域クーポンを想定しております。

2つ目の取組は豊田市美術館の割引です。最近では、インスタ映えするということでSNSで紹介していただき、若い女性のお客さんが非常に多く来られます。ジブリパークに来たお客さんにも、ぜひ美術館にも足を運んでいただくと良いと思っております。

3つ目の取組は、ジブリの楽曲によるコンサートの実施ということで、名古屋フィルハーモニー交響楽団が9月25日に公演をします。開園に向けた盛り上げはとても必要だと考えておりまして、機運醸成のためにもやっていきたいと思っております。

また、4つ目は、フォトスポットの発信です。豊田市にも様々な自然がありますので、レベルの高いものを発信してまいりたいと思っております。

次に、豊田商工会議所やツーリズムとよたと連携し「豊田市ジブリパークおもてなし協議会」を設置します。こちらはこの4月に設置しますが、ここがエンジンとなってジブリパークのPRや案内のほか、市内観光施設への周遊案内など、推進していきたいと思っております。

次に相乗効果を図る取組としましては、世界ラリー選手権を始めとした様々なイベントと連携してまいりたいと思っております。

また、鞍ヶ池公園も昨年5月にリニューアルオープンし、昨日も体験型のアトラクションとして「フォレストアドベンチャー」がオープンしましたが、木の上を移動したり、池越えをしたり、御家族で楽しんでいただける施設になっています。

また、鞍ヶ池公園には、住箱という宿泊できる施設があり、大変ご好評いただいております。関東方面から御家族連れで来られるお客さんもございますので、ジブリパークとセットで1泊して楽しんでいただければと思います。

7月にリニューアルする、道の駅「どんぐりの里いなぶ」の方も、「どんぐり」つながりでうまく連携できればと思っておりますので、ぜひよろしくお願い申し上げます。

【愛知県知事】

はい、ありがとうございました。次に日進市の近藤市長、申し上げます。

【日進市長】

はい、こんにちは。日進市の近藤裕貴でございます。

私ども日進市では、周遊型観光促進事業としまして、資料3-4にございます、これイメージ画像でございますが、岩崎城プロジェクトマップ。これはデジタルの光と音楽で皆さんを楽しませようという、こういったものなんかも今、企画をさせていただいております。

なぜ、岩崎城かといいますと、来年度「どうする家康」という大河ドラマが始まるということで、最近歴史、お城に携わる市町村で同盟を組みまして、盛り上げていこうということもやっております。

また、ジブリパークに来られる方はどうしてもお昼に楽しんでいただいて、夜は もちろん大きな名古屋市さんの、名古屋メシとかも含めて色々と楽しいものがいっぱいあると思うんですが、我々としてもそういった夜間、どうやって来場した国内外の皆様楽しんでいただくかということから、こういったものを考えております。

資料の②番でございますが、様々な企画を今考えています。これは私どもの中小企業なんかも魅力に感じているのではないかなと思います、色んな小さなプログラムをセットにして、チケット販売サイトなどを活用して、場合によっては抱き合わせでジブリさんとこういうプログラムどうですか、こういう観光はどうですか、というようなことをやっけていこう、ということも企画しています。

具体的にはこれからですが、すごく楽しい企画がどんどん出てくると思います。日進市には大学も5つございますので、この大学生の人達と日本中、世界中から来た人達が何か交流できるようなイベントだったりとか、とにかく考えればどんどん出てくるので、これから具体化していきたいと思っております。

③番、④番、⑤番につきましては、他の市町さんもやられているようなPRを私ども日進もしっかり取り組んでいきたいと思っておりますし、また先ほど前半でご紹介いただきましたが、私ども道の駅を令和5年度開駅目標に今進めさせていただいておりますので、今、ここにかなり力を入れていますので、愛知県さんにも様々な事業認定を含めた御協力をお願いしたいなという風に思っております。

いずれにしても、日進市も前のめりになってこのジブリパークと一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

【愛知県知事】

はい、ありがとうございます。またよろしく申し上げます。

続いて、長久手市の吉田市長、よろしく申し上げます。

【長久手市長】

私どもはジブリパークのあるまちとして、ジブリパークシティ、ジブリの世界観を体感的できるまち、こういうコンセプトで考えています。一番大きいのは先ほど紹介していただきましたけども、木を植える。とにかく緑化につなげて、木陰を作るとい

うことをしたいと思います。

二つ目は、あえて歩きたくなるまちにする。できたら藤が丘からジブリパークまで歩いてもらおうと。大体1万5000歩ぐらいですけども、それが楽しんで歩けるまちにしたい。それともう一つはですね、ジブリがひと手間かかるようなことが表現されていると私は思ってるんですが、今、公共施設の電力カット3割を目指してやっている。CO₂を減らそうと。

その三つの理由はですね、一つは、この間も知事においでいただき万博の15周年をやっていただきましたが、万博の理念の継承ということで、まず一つ、自然の叡智、モリゾー、キッコロが森へ帰って行ったその森を、ジブリパークだけじゃなくてまち全体を森にしたいと思っている。

それからもう一つは、暑さで人が死ぬ時代、この上段でございます、大和田さんという気象学者が今名古屋が危ないというものが出て、この人はこの長久手、特に東のジブリパークあたりが最高の温度になると。これはどうしても止めないということで、私どもがここに木を植えていくというのが出てきたわけです。

併せて、こないだカーボンニュートラルの宣言を1月4日にしたものですから、何とかCO₂を減らす。そうして、不便にはなるけれども、不便さを楽しむのはジブリとコンセプトが似ているのではないかと考えております。そんな中で、「ジブリパーク連絡会議」を作ったり、ジブリパークのPRも色々させていただく。

併せて、長久手にはジブリパークのすぐ近くに古戦場があって、そうしたのを見てもらうということなど、色んなことをやっていきます。いずれにしても、手間はかかるけど多くの人に役割があって、自然と寄り添う、地に足のついた暮らしを、ジブリパークにせっかく来ていただいたのですから、ジブリパークをきっかけに、みんなで考えると。

モリコロパークは200haありますが、私ども長久手市は2,100haありますので、全体がジブリパークのような形で、ぜひまちへ来られる人もジブリそのものも愛知県も、皆さん歓待したいということを思って、こういう形で進めてまいりました。どうぞよろしくをお願いします。

【愛知県知事】

はい、長久手市さん地元市ですので、よろしくお願いいいたします。

それではですね、鉄道事業者の皆さんから御発言をいただきたいと思います。

愛知環状鉄道株式会社の平田社長から御発言をお願いします。

【愛知環状鉄道株式会社】

愛知環状鉄道でございます。

ジブリパークへの東の玄関口となります愛環八草駅での取組につきましては、先ほど資料1の7ページでご説明いただきましたが、駅を降りた時点でジブリパークへ近づいたことを感じていただけるような、歓迎ムードを醸成していきたいと思っております。

その他の取組については資料はございませんが、少しお話をさせていただきます。

まず、名古屋駅からジブリパーク来園への第2のルートといたしまして、JR中央本線の高蔵寺駅から愛環経由のルートにつきまして、関係機関と連携して、周知に努めてまいりたいと思っております。

次に、ジブリパーク来園後のお客様が、リニモ、愛環経由で瀬戸市、豊田市を始めとした沿線市の観光地を周遊していただく取組といたしまして、沿線観光マップですとか、歴史や自然体験などテーマ別にしたモデルコースを作成いたしますとともに、沿線観光施設と駅をめぐるスタンプラリーなどの実施を検討しているところであります。

これらは、沿線市の観光協会の皆さんと連携して取り組んでいきたいと思っております。

この他、ジブリパーク来園者のパーク&ライドの取組といたしまして、豊田市さんのご協力によりまして、この4月から、駅前の市営駐車場の利用者に対する割引を3駅から5駅に拡大をしていただきますので、ホームページ等でしっかりご案内をして、ジブリパーク周辺の交通渋滞の緩和につなげていければと思っております。

説明は以上でございますが、今後とも地域の皆様と連携いたしまして、ジブリパーク開業のPRですとか、盛り上げにしっかり取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。以上です。

【愛知県知事】

ありがとうございました。愛知高速交通株式会社の丹羽社長さん、よろしくお願いいたします。

【愛知高速交通株式会社】

愛知高速交通の丹羽でございます。皆様、大変お世話になっております。

駅での盛り上げの歓迎装飾につきましては、資料1にございましたように、私どもリニモがメインアクセスということですので、できる限り協力したいという風に考えております。

あと、資料にございませんけれども、私どものジブリパークに対する思いを簡単に申し上げさせていただきたいと思っております。

ジブリパークオープンに向けまして、休日、平日に関わらず、沢山のお客様にリニモをご利用、ご乗車いただくこととなりますので、お客様の信頼を損なうことのないよう、整備点検、混雑対応など、安心安全の確保を会社の最優先課題の一つとして全社を上げて取り組むこととしております。

営業車両の編成についてですが、今、新たに1編成を追加導入する予定で順調に進めておるところでございます。

コロナの厳しい状況でございますけれども、ジブリのインパクトを改善に結びつけたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

【愛知県知事】

追加した車両は、走らせるまでにどのくらいかかるのか。

【愛知高速交通株式会社】

今試験走行をしておりますので、全体で大丈夫となれば、まだいつとは言えませんけれども、ジブリパークの前には営業運転を開始したいと考えております。

【愛知県知事】

開園に間に合うということですね。

【愛知高速交通株式会社】

間に合わせなければいけないと思っております。

【愛知県知事】

はい、ありがとうございます。

それではですね、各市、鉄道事業者の皆さんから、現在の取組などについて御報告をいただきましたが、御質問などがございましたらお願いします。

よろしいですか。はい、ありがとうございます。

もう 11 月の開園が視野に入ってきてまいりまして、工事も順調に進んでいるということでございます。

私も初めてのことで、滑った転んだをしながら進めているような状況ですが、何とか秋に向けてしっかり PR していきたいと思っております。

ちなみに、これは私どもではなくジブリさんの独自のものですが、「千と千尋の神隠し」の舞台講演が東京の帝国劇場でやっていたけど、昨日終わりました、昨日は千秋楽ということで、最後は女優にカーテンコールをやっていただいて、このあと大阪、博多、札幌に行って名古屋にくる予定です。6 月 22 日から御園座ということなので、私は名古屋で拝見しようと思っておりますけれども、大いに楽しんでいただければと思います。チケットはもう連日完売だそうで、さすがだなと思います。

また 7 月からは、宮崎吾朗監督のプロデュースで「ジブリパークとジブリ展」という展覧会が全国で回ってまいります。

最初に長野県美術館に始まり、愛知県美術館にくるのが 10 月 29 日ということで、ジブリパークオープンの 3 日前に始まり、12 月までということございまして、これもスタジオジブリさんがどんどん全国巡回していただけるということでもありますので、そういった形で国内に PR していただければと思います。

コロナが収まってくれるとは思いますが、収まってくればお客さんは来ると思っておりますので、そういう出口をしっかりとやりながら、先ほども言いましたが、11 月、12 月の週末は、大芝生広場を使って愛知県の観光物産展を大体的にやってお客さんを集めたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、本日の会議は以上ということではありますが、秋に向けてしっかりと盛り上げていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

それでは進行を司会に返します。

<閉会>

【司会（愛知県政策企画局長）】

ありがとうございます。

以上をもちまして、第3回ジブリパーク構想地域連携協議会を閉会させていただきます。

本日は大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。